

平成29年度第2回防災訓練実施報告

1. 期日 : 平成30年 2月26日 (月)

① 避難訓練 10:30～10:50

② 消火体験 11:30～11:50

2. 参加者

リデルホーム黒髪: 入居者避難者 19名 残留11名 (内SS利用者1名)

職員避難者 2名 残留 0名

緊急搬送者 0名

合計 31名

タイム (10分5秒)

ライトホーム: 入居者避難者 31名 残留 12名 (内レスキュー1名)

職員避難者 1名 残留 0名

緊急搬送者 0名

合計 43名

タイム (10分50秒)

3. 内容

①夜間出火想定 (23:00) とする。(出火場所: リデルホームBユニット 洗濯場)

②緊急時における初期消火の的確な判断と避難・誘導に重点を置く。

③消火器を扱った事がない職員は消火体験を行い、消火器の使い方を理解する。

消火器訓練参加者 リデルホーム 5名 (内実習生4名)

ライトホーム 4名 (内実習生2名)

ノットホーム 1名

ユーカリ苑 実習生3名 計13名

4. 反省内容

(別紙記載)

*防災訓練反省

1. 各部署より報告

- ・事前に消火器やヘルメットの場所の確認が出来ておらず、初期消火が少し遅れてしまった。避難誘導に集中してしまい「火事だー」の声だしが小さくなってしまった。又、応援者への指示もスムーズでなかった。避難誘導も、職員間で声を掛け合い連携を取っていればもっとスムーズに出来たと思う。
- ・応援者が防火ドアを開けた後に閉めていなかった。
- ・避難誘導時、居室の配置図の紙を持っていた為、誘導がスムーズだった。しかし、防火ドアの閉めたかの確認が不十分で、再度確認に戻り時間のロスになった。

ユージー様より

- ・火災の時は火より煙で命を落とす方の方が多いため、必ず排煙窓を開け、防火ドアを閉める。防火ドアは、火より煙を広めない役割の方が大きい。
- ・今回は夜間想定のため、職員は夜勤者のみで避難誘導をしなくてはならないが、他の職員に手伝ってもらっている人がいた。
- ・リデルホームのCDユニットリビングのドアが開けてあったが、煙を遮断する役割として、閉めた方が良かった。
- ・排煙窓も使わないと開かなくなる事があるため、定期的な確認が必要。

報告者
リデルホーム黒髪
船崎 亮



